

公表

事業所における自己評価結果

公表日

令和 7年 3月 19日

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 第3アミスター		令和 7年 3月 19日				
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や子どもたちの状態によって空間を分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもたちの状態により個別での対応ができるように職員を配置し、死角が来ないような配置にしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちが認識しやすいように視覚的にわかりやすく表示している。各フロアはバリアフリーになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常に清潔な環境に整備し、子どもたちと一緒に掃除をして自分たちがいる環境をきれいに保つ意識づけも行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動や子どもの気持ちに寄り添い、環境を分けて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月に一度振り返りの時間をつくり、職員間で連携して業務の改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者との面談や情報を職員間でも共有し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		PDCAサイクルを活用しながら、職員間で報告共有することで日々の業務が円滑にいくよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現段階で第三者による外部評価は出来ていない。今後外部評価ができるよう機会を設け、改善に繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に職員研修がおこなわれており、モチベーションやスキルアップが図れるようにしている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子どもたちの様子を見ながら子ども達に合わせ、5領域に基づいた支援プログラムの作成を心掛けている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にアセスメントを行い、保護者と普段の生活を共有することで計画、支援に繋げている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもに関わるすべての職員が支援計画書の内容を検討し、作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書作成時に職員間で共有し、共通理解のもと支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の子どもの療育の様子などをもとに定期的にアセスメントを行い、アセスメントシートに結果を記載してそれぞれがアセスメント結果を確認できるようになっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		事業所ですべての支援内容が記載されているフォーマットを使用することで必要な項目を適切に設定している。支援内容についても支援にかかわるスタッフで内容を検討し、具体的な内容を入れ込んで設定することができている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで話し合い、活動内容の立案や検証等を行っている。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	毎月のテーマを設定し、季節やその時期に合った活動も取り入れるようにしている。また、個別療育を取り入れることで個々の特性に応じたプログラムもやっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	本人の特性などを考慮し、個別療育、集団活動を含め本人に合わせた支援計画を作成している。また、支援内容をもとに適宜見直ししながら支援をしている。作成した内容をもとにして支援を行い、適	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援に入る前に各事業所で打ち合わせを行い、当日のスケジュールが円滑に進むようにチームで連携している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後にはその日の療育の様子と改善についての話し合い、情報共有を行い良い支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の療育の様子を記載することができている。日々の支援内容を個々で残し、その様子を職員間で共有し、検証することで必要に応じて改善策の検討に繋げていく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い、計画書の作成、変更を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○	地域との交流を図るため、イベントに積極的に参加し、子どもたちの自立に向けた支援、保護者支援ともに連携しながら行っている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	選択できるような活動を取り入れることで、主体的に活動ができる環境づくりを行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者に加え、日々の療育を主に担当している子どもの状況をよく理解している者も同席している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関との連携をとれるように体制を整えている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	下校時間や行事予定の確認、送迎時に子どもの様子を共有することで各学校との連携を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	他事業所から利用を開始する際には、その事業所との連絡を取り、情報共有の機会を設け必要な引き継ぎを行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	サービスを移行する際には、相談支援事業所と連携を図りながら移行先の事業所へ支援内容等の情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	地域の児童発達支援センターとの連携やスーパーバイザーとの関わりは定期的に行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	法人内には放課後児童クラブが2事業所あるため、イベントの合同開催など、定期的な交流の機会を設けている。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	事業所ごとに協議会等への参加を積極的に行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡用ツールを利用し日々の生活の様子を保護者へ報告している。必要に応じて、都度保護者と面談し話し合っている。必要に応じて電話、自宅への訪問を行うことで共通理解を持てるように取り組んでいる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者参加型のイベントなどを開くことで情報提供の機会を設けてはいるが、研修という形ではないため、今後は開催を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約の際に保護者様に直接説明する機会を設けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	定期的な保護者会を設定することで保護者の意向を確認する機会を設けている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	支援計画書を一緒に確認し、分かりやすく支援の内容を伝え、同意を得た上で支援を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からの声を大切にし、必要に応じて面談や助言をできる機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	保護者に子どもたちの生活の様子の共有や親子レクリエーションなどを行う機会を定期的に開催し、きょうだい同士も一緒に交流できるよう環境設定をしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	事業所で苦情担当の窓口を設けることで苦情の際には迅速に対応できる体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	組織のHPを利用して各事業所の月ごとの活動計画や全体の行事などを公開し、保護者に向けた情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報を扱う際には事業所内でのみ使用とし、十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子どもとの関わり方や保護者への対応など、研修への参加を通してマニュアルの作成をすることで、職員の意識向上に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域のイベントに参加したり、イベントの自主開催を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	月に一回以上災害を想定した避難訓練を実施して備えている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定し、定期的に確認し、必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	入所時に子どもについて記載する用紙の中に、アレルギーやてんかん等について記載する欄があるため、入所前に状況が分かるようにしている。また、記載があった家庭には直接確認をし、一覽で出すことですべてのスタッフが周知できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	入所時にアレルギーやてんかん等の有無や対応等を直接確認し、職員が確認しやすいように一覽にしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画の作成し、職員間で連携を取りながら安全に支援が出来るようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約の際に保護者へ直接お伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットの報告を記録と全体ミーティングで共有し、対策を職員で考え、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	職員全員が適切な対応が取れるよう、定期的に虐待防止等の研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	事前に保護者に説明し、了承を得た上で支援計画書に記載している。		